

R5(2023)年度事業実施報告

NO.	公募時				年次計画内容	実施結果		
	提案内容	提案内容詳細	実施時期	実施回数		実施内容	参加人数	実施回数
【本来事業】								
1	日本語教室	芦屋市に在住する外国人に対して、日常会話の取得を目的とした日本語教育を実施。大人40名、子ども8名程度募集。	毎年	大人クラス:週4日全5クラス 子ども:週1日全1クラス	芦屋市及び近隣の学校及び事業所に在籍する外国人とその家族を対象に、ニーズに即した日本語教育。大人40名、子供8名。	大人:週4日全5クラス 子ども:週1日全1クラス	大人1,474人 子ども354人	大人737回 子ども42回
2	日本文化教室	芦屋市に在住する外国人に対して、日本の伝統文化に触れてもらう機会をつくる(華道、茶道、書道)若干名募集。	毎年	各月1回	芦屋市及び近隣の在在する外国人を退所湯に日本の伝統文化に触れてもらう機会をつくる目的で華道、茶道、書道の教室。	華道教室	28人	9回
						書道教室	25人	8回
						茶道教室	78人	11回
3	姉妹都市交流	学生親善使節交換事業	毎年	年1回	学生親善使節交換事業	姉妹都市交流事業の一つとして芦屋学園、山手中学校、浜風小学校と交流した。センターオープンスペースを利用して姉妹都市交流事業を展示して市民に理解と認知を深める情報を提供した。	1,072人	1回
4	姉妹都市交流	姉妹都市提携60周年事業(モンテペロ市民訪問団と市民との交流、日本文化の紹介)	令和3年度	1回	派遣・受け入れ	—	—	—
5	ボランティア日本語講師養成講座	芦屋市に在住する外国人の大人に対して日本で生活がスムーズに送れるように、日常会話の習得を目的とした日本語教育を実施するため、本講座にて講師を養成。30名程度募集。	毎年	年1回	外国人のための日本語教室の講師の養成。30名程度	ボランティアが増加により、新規ボランティアの養成ではなく、既存ボランティアのやさしい日本語のスキルアップに力を入れるため、ボランティア日本語講師ブラッシュアップ講座の2回目として開催した。	17人	1回
6	ボランティア日本語講師ブラッシュアップ研修	上記講師の能力向上や教育方法のブラッシュアップと同時に、教育上の最新情報入手のため、兵庫県国際交流協会の講師による研修会を実施。30名程度募集。	毎年	年1回	外国人のための日本語教室の講師のそのスキルアップのための講座。30程度	ボランティア日本語講師ブラッシュアップ講座	18人	1回
7	多文化共生に関する情報提供	センター掲示板やホームページ上に掲示・掲載し、市内外国人との多文化共生を図ります。	毎年	—	センター掲示板やホームページ上に掲示・掲載し、市内外国人との多文化共生を図ります。	随時	—	随時
8	ボランティアによる情報紙(やさしい日本語、英語、他1言語)の作成・発行	「広報あしや」の記事の中から外国人にも周知するべき記事を抜粋し、数名のボランティアにより、やさしい日本語と英語版の「コスモネット」を発行し、アミティカード(市内外国人登録カード)登録外国人へ郵送しています。英文は外国人ボランティアによる確認を受け、印刷・発送作業もボランティアによって行います。(他1言語については、必要に応じて中国語もしくは韓国語のいずれかでも対応する予定です。)	毎年	年6回以上	「広報あしや」の記事の中から外国人にも周知するべき記事を抜粋し、ボランティアが英訳とやさしい日本語にし、隔月に発行。英文は外国人ボランティアによる校正を受け、印刷もボランティアによって行います。	—	65人	6回
9	市内在住外国人への防災情報の提供	災害発生時の外国人相談所として、外国人のための災害時における対応を紹介するセミナーを開催し、必要なサポートを実施。	毎年	—	外国人のための災害時における情報の提供	随時	7人	随時
10	市内在住外国人相談窓口設置	市内在住外国人からの相談については、随時、センターの窓口で対応。英語は随時、中国語および韓国語は土日曜、スペイン語は、対応職員がいる時に対応。	毎年	随時	市内在住外国人に対する相談をセンターの窓口で対応します。英語・やさしい日本語は随時、中国語は土日曜、スペイン語は事前予約にて対応します。センター場外での日常生活における通訳の要請があればボランティアを派遣し対応します。	随時 □	—	26回
11	国際交流関係団体のマネジメント、活動等の支援	各団体、大学と連携し、多文化共生推進のための活動をサポート、促進。	毎年	随時	市内日本語教室運営団体と連携し、ボランティア日本語講師養成講座、ボランティア日本語講師ブラッシュアップ研修、やさしい日本語講座への受講を促し、質の高い日本語講師の養成をサポートします。	ひょうこ国際交流団体連絡協議会、阪神間国際交流協会懇話会との連携、また、市内日本語教室運営団体に「日本語講師ブラッシュアップ研修」を案内して市内日本語ボランティア講師の質向上を図った。	11人	5回
12	—	—	—	—	やさしい日本語講座	やさしい日本語講座	28人	2回
13	—	—	—	—	多文化共生のための講演会	「RAKUGO&仏蘭西」フランス人落語パフォーマンス	47	1回
14	—	—	—	—	外国人向け等の防災セミナー・イベント	芦屋警察警備課による防災講座を実施、及び芦屋市消防署による消防訓練を日本語教室の受講生を対象に行った。	30人	2回
【自主事業】								
1	潮芦屋セミナー	市民により広い視野を持ってもらえるよう国際時事、人生談義、趣味の世界、最新技術などのセミナーを開催。講師は、外国人、実業家、学識経験者など。180名程度募集。	毎年	年6回程度	講師、テーマは未定。120名程度	桂 福丸氏による「英語落語」 マーク・フィールデン氏による「日本在住カナダ人から見たカナダの魅力」 廣木 麻美子氏による「女性が輝くスウェーデンから何を学ぶか」	206	3回
2	潮芦屋コンサート	市民に気軽に音楽を楽しんでもらえるよう、クラシック、ハワイアン、ジャズ、ポピュラー、ロック、楽器演奏など、幅広いジャンルのコンサートを開催。240名程度募集。	毎年	年3回程度	ジャンルは未定。220名程度	アルパデュオによるアルパコンサート ワイキキ72とカイオロヒアによるハワイアン音楽とダンス 緑ゆみ子氏によるクリスマスジャズコンサート	402人	3回
3	世界の料理教室	「作って食べよう世界の料理」をキャッチフレーズに、世界の国々の代表的な料理に加えて異国の文化や習慣などをその国の主婦・留学生から紹介していただく教室。300名程度募集。	毎年	月1回 (除8月、1月)	世界各国の料理教室を目指す。250名程度	「シリア編」「ロシア編」「スペイン編」「ブラジル編」「アルメニア編」「パスク編」「カーボベルデ編」「日本編」「タイ編」「中国編」	231人	10回
4	ワールドフェスタ	コンサートと世界の料理をコラボレーションさせて市民に提供するイベント。350名程度募集。	毎年	年1回	世界の料理と音楽の祭典。350名程度	世界の料理、雑貨販売と音楽の祭典	600人	1回
5	英会話教室	大人のための楽しい英会話教室と、外国人講師による英会話教室の合計8教室を定期的に開講。各クラスはレベルに応じて柔軟なカリキュラムを用意。英会話教室:80名程度、英語教室:50名程度募集。	毎年	週4日全5クラス	月、火、金各1クラス、木2クラス。延べ1,400名程度	大人のための楽しい英会話教室と、外国人講師による英会話教室の合計7教室を定期的に開講。各クラスはレベルに応じて柔軟なカリキュラムを用意。語学教室という「枠」にとらわれずに文化背景を学び、発音、文法、作文、読解、会話はもとより国際交流、異文化理解に役立てていく語学教室。	1,411人	192回
6	英語教室	—	毎年	週2日全2クラス	木、金各1クラス。延べ560名程度	—	409人	71回
7	文化祭(文化体験)	日本語教室に在籍する外国人およびその家族と日本人との交流を深めるとともに、日本の伝統文化や施設に触れ、理解してもらうためのイベント。70名程度募集。	毎年	1回	7月に七夕祭り。70名程度	夏の文化祭を開催し、日本語スピーチと図書館の子ども司書による図書館の紹介と本を紹介して日本文化に触れて頂いた。	38人	1回
8	施設見学	国際交流のための日帰り施設見学(体験学習などを含む)を企画、実施。50名程度募集。	毎年	年1回	施設見学 30名程度	ボランティアと学習者との交流を深めた。	9人	1回
9	地域社会とのつながりの強化	地元の各学校並びに諸団体と外国人を含めてあらゆる交流を深め、芦屋市内の地域の活性化に一翼を担えるよう、活動を推進していく。	—	—	地元の各学校並びに諸団体と外国人を含めてあらゆる交流を深め、芦屋市内の地域の活性化に一翼を担えるよう、活動を推進していく。	「芦屋オープンガーデン」に参加、芦屋警察と密に連携して地域の安全に貢献、「社会を明るくする運動」に参加、「生活安全連絡協議会」に参加、「潮見小学校街探検」によるセンター訪問に対応、保健センターの「乳がん検診」にオープンスペースと職員駐車場を開放、潮見小学校4年生社会科授業「国際交流について」出張講師を派遣。	—	—
10	芦屋市への貢献	地域の活性化への寄与、市内の多文化共生の推進を積極的に実践し、市内在住外国人に対して、日本語教育を通して日本の生活文化を理解してもらい、地域への定着とトラブル防止に努めます。また、不測の災害発生時(地震、津波など)に少しでも安心、かつ安全に避難が可能になるように情報提供・安全教育を推進させるようにする。	—	—	地域の活性化への寄与、市内の多文化共生の推進を積極的に実践し、市内在住の外国人に対して、日本語教育を通して日本の生活文化を理解してもらい、地域への定着とトラブル防止に努めます。また、不測の災害発生時(地震、津波など)に少しでも安心、かつ安全に避難が可能になるように情報提供・安全教育を推進させるようにする。	延べ約1,000人の市内在住外国人に、日本語教育及び文化教室、文化体験を通して日本の生活文化を理解してもらい、地域への定着とトラブル防止に努めた。また、市内在住外国人への防災に関する情報提供や、芦屋警察による防災教室や芦屋市消防署による消防訓練を日本語教室の受講生を対象に行つて安全教育を推進した。	—	—
11	災害時の外国人支援セミナー	—	—	—	災害時にボランティアが、外国人に必要な支援が行えるようにサポートします。25名程度	防災時対応セミナーのDVDを10名の一般市民を含むボランティアが視聴して、必要な支援ができるようにサポートした。	10人	1回
12	日常生活における通訳者のネットワーク作り	インターンシップおよび留学生アルバイトの積極的な活用を促進	—	—	インターンシップおよび留学生アルバイトの積極的な活用を促進	中国人留学生アルバイトを雇用し、中国語の通訳者として活用した。	1人	土日祝祭日
13	—	—	—	—	英語情報紙の発行、配達、発送	「広報あしや」の記事の中から外国人にも周知するべき記事を抜粋し、ボランティアが英訳し、毎月発行。英文は外国人ボランティアによる校正を受け、印刷、発送もボランティアによって行った。	94	12回
14	—	—	—	—	地域団体との共催事業	CID-UNESCO Ashiyaとの共催「World Dance Day 2023 in Shio-Ashiya」を開催した。	100人	1回